

## 第7回 美ら島沖縄学講座

# ヒヌカンのはなし

## 教育庁生涯学習振興課

(生涯学習推進センター)

### 1 講座の趣旨

今もなお沖縄県内の各家庭で広く信仰されるヒヌカン（火の神）について、県内各地のさまざまな事例を紹介しながら、基礎からわかりやすく、楽しく解き明かす。



### 2 講座の概要

- ①日 時 平成29年11月22日(水)  
14:00～16:00
- ②学習時間 2時間
- ③実施場所  
本会場：南部合同庁舎4階  
サテライト会場：各教育事務所  
伊江村、多良間村
- ④受講者数 203人



### 3 共催 なし

### 4 講座内容

No	開催日	内容	講師	実施場所
7	平成29年 11月22日(水) 14:00～16:00	・開講式 ・講義 「ヒヌカンのはなし」 ・閉講式	稲福 政斉 氏 沖縄国際大学非常勤講 師	・本会場 南部合同庁舎4階 ・サテライト会場 各教育事務所 伊江村、多良間村

### 5 成果

- ・県内各地の事例等を交えた解説と、ヒヌカンの歴史的な背景などを知ることで、よりヒヌカンを身近に感じるとともに理解も深まった。
- ・沖縄では、どの家庭でもヒヌカンが継承されてきたが、ヒヌカンの機能、まつり方について知ることで、ヒヌカン本来の意味が分かり更に関心が高まった。

### 6 課題

- ・11月ではあるが、暑い日があったりするので空調の調整が必要。

## 第8回 美ら島沖縄学講座

# 沖縄のヒヌカンについて

教育庁生涯学習振興課

(生涯学習推進センター)

### 1 講座の趣旨

今もなお沖縄県内の各家庭で広く信仰されるヒヌカン（火の神）について、その意味やなりたち、現在の信仰の状況などを、村内をはじめ県内各地のさまざまな事例を紹介しながら、基礎からわかりやすく解説する。



### 2 講座の概要

- ①日 時 平成29年12月5日(火)  
18:30~20:30
- ②学習時間 2時間
- ③実施場所 伊是名村産業支援センター
- ④受講者数 71人



### 3 共催 伊是名村教育委員会

### 4 講座内容

No	開催日	内容	講師	実施場所
8	平成29年 12月5日(火) 18:30~20:30	・開講式 ・講義 「沖縄のヒヌカンについて」 ・閉講式	稲福 政斉 氏 沖縄国際大学非常勤講師	伊是名村産業支援センター

### 5 成果

- ・伊是名村内にあるヒヌカンの解説から、継承されてきた重要性を知り、伝統文化継承に関する意識がより高まった。
- ・各家庭で行っていたヒヌカンのまつり方など、各自が行っている方法が正しいかなど、疑問に感じていたことを学ぶ貴重な機会となった。

### 6 課題

- ・イス席の場合、アンケート等が記入できるようバインダーなど準備する必要がある。

## 第9回 美ら島沖縄学講座

# 沖縄の名前のはなし

教育庁生涯学習振興課

(生涯学習推進センター)

### 1 講座の趣旨

沖縄独特の名字や屋号などの家の名、ワラビナー（童名）や名乗頭といった人の名にまつわるさまざまなことについて、各地の実例をもとに基礎からわかりやすく、楽しく解き明かす。



### 2 講座の概要

①日 時 平成29年12月14日(木)  
14:00~16:00

②学習時間 2時間

③実施場所

本会場：南部合同庁舎4階  
サテライト会場：各教育事務所

④受講者数 141人



### 3 共催 なし

### 4 講座内容

No	開催日	内容	講師	実施場所
9	平成29年 12月14日(木) 14:00~16:00	・開講式 ・講義 「沖縄の名前のはなし」 ・閉講式	稲福 政育 氏 沖縄国際大学非常勤講師	・本会場 南部合同庁舎4階 ・サテライト会場 各教育事務所

### 5 成果

- 琉球王国時代、士族は出世すると領地を与えられ、それが家名となった。出世するごとに領地が変わるので家名も変わった。他県での家名=血筋を表すという考え方が異なっており、沖縄の歴史のおもしろさに興味が高まった。
- これまで気にとめてなかった名前について、名前のもつ意味や歴史を知り、家譜を考えてみる切っ掛けになった。
- 名前に関する歴史をとおした解説で、屋号、名乗頭、ワラビナー（童名）など、沖縄独特の名前について理解が深まった。

### 6 課題

- 座席の位置によって、スライドが見えにくい箇所があるので、照明の確認が必要。

## 第10回 美ら島沖縄学講座

# 琉球の城を歩く～in座喜味城～

教育庁生涯学習振興課

(生涯学習推進センター)

### 1 講座の趣旨

ユネスコの世界文化遺産「琉球王国のグスク及び関連遺産群」に登録されているグスクの一つである座喜味城跡。築城家として名高い護佐丸が築いた先進的な建築技術と、見事な曲線美の世界遺産「座喜味城跡」を専門員の解説を聞きながら探訪する。



### 2 講座の概要

- ①日 時 平成30年1月12日(金)  
10:00～11:00
- ②学習時間 1時間
- ③実施場所 座喜味城跡 (読谷村)
- ④受講者数 29人



### 3 共催 なし

### 4 講座内容

No	開催日	内容	講師	実施場所
10	平成30年 1月12日(金) 10:00～11:00	・開講式 ・フィールドワーク 「琉球の城を歩く～in座喜味城～」 ・閉講式	仲宗根 求 氏 読谷村教育委員会 文化振興課長	座喜味城跡 (読谷村)

### 5 成果

- ・実際に座喜味城跡を見ながら、専門員から解説を聞くことが出来る貴重な機会となった。
- ・護佐丸の築城から今日までの歴史を知ることによって、地域の歴史や文化への興味と郷土学習への関心が高まった。
- ・座喜味城の曲線を描いた城壁の美しさ、また、現存する沖縄最古のアーチ門の一つと称されている石造アーチを間近で見ることにより、歴史的建造物を後世へ残すことの意義をより深く考える機会となった。

### 6 課題

- ・募集人数に限りがあるなかで、当日キャンセルがあるので対応を考える必要がある。
- ・希望者多いため、開講数を増やすなど工夫が必要。

# 第11回 美ら島沖縄学講座 沖縄の位牌について

教育庁生涯学習振興課  
(生涯学習推進センター)

## 1 講座の趣旨

祖先崇拜の念のあついで沖縄の人々にとって、今なお最も身近な信仰の対象のひとつである位牌（トートーメー）について、その歴史や種類、記される文字の意味、札の並べかたなど、知っているようで意外と知られていないさまざまなことから、基礎からわかりやすく、楽しく解き明かす。



## 2 講座の概要

- ①日 時 平成30年1月14日(日)  
10:00~12:00
- ②学習時間 2時間
- ③実施場所 北大東村保健福祉センター
- ④受講者数 34人



## 3 共催 北大東村教育委員会

## 4 講座内容

No	開催日	内容	講師	実施場所
11	平成30年 1月14日(日) 10:00~12:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開講式</li> <li>・講義 「沖縄の位牌について」</li> <li>・閉講式</li> </ul>	稲福 政斉 氏 沖縄国際大学非常勤講師	北大東村保健福祉センター

## 5 成果

- ・なかなか聞けない位牌（トートーメー）についての歴史や種類、記されている文字の意味など、疑問に思っていたことが解消された。
- ・これまでに無かった講座ということで、島では珍しく多くの年配者が講座へ参加した。
- ・お供えものについて、内容が供える目的や行事で異なること。また、地域による特色が薄れてきているなど、お供えものの内容も時代とともに変遷していることが分かった。

## 6 課題

- ・1月は時期的に農繁期、製糖期ということで、講座開催の日程調整で確認が必要である。

### (3) 広域学習サービス講座

講座名 第1回

## イマドキ★スイーツ お菓子屋さんのスイーツ教室

国頭教育事務所

#### 1 講座の趣旨

家庭でも簡単にできる美味しいスイーツを、子供の憧れスイーツ屋さんから直接学ぶ。地元で人気のスイーツ屋さんから学ぶことで憧れが身近になり、将来の夢を持つこと、叶えることについて親子で考える機会とする。また、地域の発見、親子の共通の趣味を活かしたコミュニケーション作りを図る。



【しゅわしゅわゼリー作り】



【ホロホロチョコチップボール作り】

#### 2 講座の概要

親子を対象にしたスイーツ教室。大宜味村のシークワサーと東村のパイナップルを利用したスイーツ作り。

- ①時期：夏休み期間（8月開催）
- ②場所：東村
- ③対象：親子20名（幼稚園年長～小学生）
- ④材料費：300円



【ゼリー完成】



【チョコチップボール完成】

#### 3 共催

東村教育委員会、JAおきなわ北部地区営農振興センター  
JAおきなわ北部地区シークワサー生産部会

#### 4 講座内容

回	日時	場所	内容	講師名	受講者数
1	8月2日(水) 10:00～12:00	東村保健福祉センター 調理実習室	おやつ屋Poutaさんの冷たいスイーツしゅわしゅわゼリー作りと簡単ホロホロチョコチップボール作り	我謝 和子 氏	20名

#### 5 成果

- ・地元の食材を使った冷たいスイーツ作りとして、シークワサーとパイナップルを使ったゼリー作りは、家庭でもすぐに真似できると好評だった。ゼリーを冷やしている間にチョコチップボール作りをした。計量も簡単で混ぜたり丸めたり、ラッピングしたり、子供と一緒に製作ができる工程が良かったと評価を頂いた。将来の夢がパティシエという子もおり、目を輝かせて講師の作業を見たりメモしたり、盛り付けやラッピングを楽しそうにしている姿が印象的だった。

#### 6 課題

- ・改善点として、持参する調理道具の伝達がわかりづらく（個数は家族で1つなのか人数分必要なのか、サイズ等）準備に迷ったと声があった。きちんと表記し、電話連絡するよう努めたい。また、ゼリーがうまく固まらなかった親子もおり、子供が残念そうにしていたので、うまくできるように手順の表記やアナウンスなど工夫が必要だったと反省した。

## 講座名 第2回

# イマドキ★スイーツ お菓子屋さんのスイーツ教室

国頭教育事務所

### 1 講座の趣旨

家庭でも簡単にできる美味しいスイーツを、子供の憧れスイーツ屋さんから直接学ぶ。地元で人気のスイーツ屋さんから学ぶことで憧れが身近になり、将来の夢を持つこと、叶えることについて親子で考える機会とする。また、地域の発見、親子の共通の趣味を活かしたコミュニケーション作りを図る。



【マフィン作り】



【マフィン焼き上がり】

### 2 講座の概要

親子を対象にしたスイーツ教室。本部町の山城豆腐店の豆乳を使ったミニマフィン作りとゆし豆腐作り。

- ①時期：夏休み期間（8月開催）
- ②場所：本部町
- ③対象：親子20名（幼稚園年長～小学生）
- ④材料費：500円



【ゆし豆腐作り】



【ゆし豆腐】



【ゆし豆腐作りから豆腐ができた】

### 3 共催

本部町教育委員会、よはマンゴー園トロピカルフーズ、西平黒糖

### 4 講座内容

回	日時	場所	内容	講師名	受講者数
2	8月10日(木) 14:00～16:00	もとぶかり ゆし市場 調理室	豆乳ミニマフィン作りと山城豆腐さんのゆし豆腐作りのデモンストレーション	具志堅 玲乃 氏	20名

### 5 成果

- ・豆乳を使い、ミニマフィン作りからゆし豆腐作りまで内容の濃い体験となった。ミニマフィン作りでは、家庭でもSOYSOYさんのマフィンが作れるとあって皆さん楽しみにしていた様子。計量も、作る工程もシンプルで好評であった。また、子供たちはトッピングの種類が多さに興奮気味で、各々アレンジの効いたトッピングは見えていて楽しかった。
- ・ゆし豆腐やお豆腐を作る工程まで学び実践。子供たちもお母さんたちも、出来たてのゆし豆腐やお豆腐を美味しく試食し、とても充実した内容となった。

### 6 課題

- ・調理室に椅子の設置がなく、2時間立ちっぱなしであったため休憩用の椅子があると良かったとの声があった。また、終了時刻を過ぎてしまい（焼き時間が各テーブルで異なった為）、改善が必要との声も頂いたので、時間内の進行のサポートを徹底したい。

# イマドキ★スイーツ お菓子屋さんのスイーツ教室

国頭教育事務所

## 1 講座の趣旨

家庭でも簡単にできる美味しいスイーツを、子供の憧れスイーツ屋さんから直接学ぶ。地元で人気のスイーツ屋さんから学ぶことで憧れが身近になり、将来の夢を持つこと、叶えることについて親子で考える機会とする。また、地域の発見、親子の共通の趣味を活かしたコミュニケーション作りを図る。



【シークワサー絞り】



【重ねて行く作業】

## 2 講座の概要

親子を対象にしたスイーツ教室。オープンやフライパンなど使わずに、家にある材料などで重ねて作るスイーツ「トライフル (Trifle)」というイギリスのお菓子作り。

- ①時期：夏休み期間（8月開催）
- ②場所：宜野座村
- ③対象：親子20名（幼稚園年長～小学生）
- ④材料費：500円



【仕上げのトッピング】



【完成】

## 3 共催

宜野座村教育委員会、宜野座区事務所

## 4 講座内容

回	日時	場所	内容	講師名	受講者数
3	8月20日(日) 10:00~12:00	宜野座区 事務所 調理室	Kino store(きのストア)さんの重ねて作るスイーツ「トライフル (Trifle) 作り	牧野 さくら 氏	20名

## 5 成果

- ・講師の方のしっかりした下準備や、参加者を楽しませる演出が講座に散りばめられていて、飽きることなく皆さん楽しそうに受講していた。
- ・トライフルというオープンなど使わず重ねて作るお菓子は小さなお子さんと一緒に作業ができ、「どんな味になるんだろうね」と会話しながら楽しくできたという声や、簡単にできるカスタードの作り方や応用の仕方など知ることができ皆さん大満足の様子だった。
- ・連続講座は1回限りの講座と違い、参加者同士で交流ができてよかったと好評だった。

## 6 課題

- ・場所が「村」の公民館なのか「区」の公民館なのか混同していた方もいたので、参加者が間違えないよう連絡に配慮したい。また、回により開始時間が異なったため、勘違いし参加できなかった親子がいたので、事前連絡で開始時間の注意を促すなどして対策していきたい。



## 講座名 第4回

# イマドキ★スイーツ お菓子屋さんのスイーツ教室 国頭教育事務所

### 1 講座の趣旨

家庭でも簡単にできる美味しいスイーツを、子供の憧れスイーツ屋さんから直接学ぶ。地元で人気のスイーツ屋さんから学ぶことで憧れが身近になり、将来の夢を持つこと、叶えることについて親子で考える機会とする。また、地域の発見、親子の共通の趣味を活かしたコミュニケーション作りを図る。



【コルネ作成】



【アイシング作

### 2 講座の概要

親子を対象にしたスイーツ教室。アイシングクリームを使い、用意されたクッキーにお絵かきのように楽しくデコレーションする。

- ①時期：夏休み期間（8月開催）
- ②場所：名護市
- ③対象：親子20名（幼稚園年長～小学生）
- ④材料費：700円



【完成】



【持ち帰りBOX】

### 3 共催

JAおきなわ北部地区営農振興センター、JAおきなわ北部地区シークワサー生産部会

### 4 講座内容

回	日時	場所	内容	講師名	受講者数
4	8月23日(水) 13:00～15:00	国頭教育事務所 5F会議室	Sweets house cocolo さんのおえかきクッキーデコ教室	徳村 晶子 氏	20名

### 5 成果

- ・アイシングクリームを入れるコルネを作るのが難しく、講師が一人一人に丁寧に教えていた。個々に対応できたのも、20名という人数だったから対応できた。多すぎず少なすぎず適した参加人数であった。子供たちもぬりえ感覚で集中して作業を楽しんでいて、なかなか家ではできないアイシングクッキー体験ができてよかったと好評だった。

### 6 課題

- ・会議室までの行き方がわかりづらかった、わかりやすい場所にしてほしいとの声があった。道案内用の表記を玄関先や廊下、エレベーターなどに貼って対応するなど次回からは参加者目線で会場案内を心掛けたい。また、下準備に時間を要してしまったので、事前準備など講師と連携を密に取りスムーズに講座が進められるよう努めたい。

## 講座名 第1回

# 「ウエルカムんちゅになろう！」多言語講座（英語）

中頭教育事務所

### 1 講座の趣旨

観光立県を標榜する本県は、多くの外国人観光客が訪れる。そこで、多言語を学び沖縄県のあたたかさを伝えコミュニケーション力を高める。



### 2 講座の概要

- ①日 程：平成29年10月1日（日）
- ②時 間：10：00～12：00
- ③学習時間：2時間
- ④実施場所：うるま市生涯学習センター  
ゆらてく

### 3 共催 なし

### 4 講座内容

回	日 時	場 所	内 容	講 師 名	受講者数
1	10月1日(日) 10:00～12:00	うるま市 生涯学習 センター ゆらてく	「ウエルカムんちゅになろう！」 多言語講座開講 ○英語 (文化や習慣にふれよう)	屋宜 典子 氏 元那覇市観光協会 非常勤職員	14人

### 5 成果

- ・外国人観光客に伝えやすく話す方法を学ぶことが出来た。
- ・沖縄の特産物の英語での言い方を学べて良かった。
- ・首里城のネット公式案内やパンフレット（英語版）を見ながらの説明が良かった。  
またその後、隣同士ペアを変えながら各地域の観光名所の説明を実践できてとても良かった。
- ・「今回を機に興味がでた。」「これからも気軽に学んでいきたい。」「楽しかった。」「次回も企画して欲しい。」との声が多かった。

### 6 課題

- ・全4回講座受講だと受講希望者が少ない。

## 講座名 第2回

# 「ウエルカムんちゅになろう！」多言語講座（中国語）

中頭教育事務所

### 1 講座の趣旨

観光立県を標榜する本県は、多くの外国人観光客が訪れる。そこで、多言語を学び沖縄県のあたたかさを伝えコミュニケーション力を高める。



### 2 講座の概要

- ①日 程：平成 29 年 10 月 15 日（日）
- ②時 間：10：00～12：00
- ③学習時間：2 時間
- ④実施場所：うるま市生涯学習センター  
ゆらてく

### 3 共催 なし

### 4 講座内容

回	日 時	場 所	内 容	講 師 名	受講者数
2	10月15日(日) 10:00～12:00	うるま市 生涯学習 センター ゆらてく	「ウエルカムんちゅになろう！」 多言語講座開講 ○中国語 (文化や習慣にふれよう)	游 淑 蓉 氏 沖縄地域通訳案 内士	12名

### 5 成果

- ・自分の名前を中国語で書いたり、言えるようになった。
- ・沖縄と台湾の文化の共通点や違いを知ることによって沖縄や外国の文化に興味をわいた。
- ・中国語は発音が難しいという印象でしたが、この講座は初めて習う者にもとても分かりやすかった。

### 6 課題

- ・最近では中国人観光客が多く中国語の必要性を感じるため講座の回数を増やして欲しい。
- ・中国語は難しいので1回の講座では足りない。

## 講座名 第3回

# 「ウエルカムんちゅになろう！」多言語講座（韓国語）

中頭教育事務所

### 1 講座の趣旨

観光立県を標榜する本県は、多くの外国人観光客が訪れる。そこで、多言語を学び沖縄県のあたたかさを伝えコミュニケーション力を高める。



### 2 講座の概要

- ①日 程：平成 29 年 10 月 22 日（日）
- ②時 間：10：00～12：00
- ③学習時間：2 時間
- ④実施場所：うるま市生涯学習センター  
ゆらてく

### 3 共催 なし

### 4 講座内容

回	日 時	場 所	内 容	講 師 名	受講者数
3	10月22 日(日) 10:00～12:00	うるま市 生涯学習 センター ゆらてく	「ウエルカムんちゅになろう！」 多言語講座開講 ○韓国語 (文化や習慣にふれよう)	岸本 孝根 氏 沖縄国際大学非 常勤講師	13名

### 5 成果

- ・文字の読み書きが出来るようになったのでこれからも継続していきたい。
- ・韓国語の書き方の仕組みが分かりやすくよかった。

### 6 課題

- ・講座参加者の中に新聞、学習プラザ以外に講師のフェイスブックやその他の情報での受講生がいる。広報の検討が必要。